

対象	小学校中学年以上
教科	理科
該当 単元	小学3年 「こん虫を 調べよう」 ・トンボやバッタ のからだを くわしく調べて みよう
教科書	東京書籍等
掲載日	2018.7.6. 朝刊 浜松市民版

問1：上の写真は羽化したばかりのオニヤンマです。オニヤンマの特色として正しいものに○をつけましよう。

A 速く飛ぶトンボ

B 日本最大のトンボ

問2：こん虫の成虫のからだは「頭・むね・はら」からできています。

はねは、どの部分にはえていますか。○をつけましよう。

頭 ・ むね ・ はら

問3：下の写真のモノサシトンボは交尾をしています。雄と雌のからだはそれぞれどんな様子ですか。記事を読んでまとめましよう。

雄：( )の先を雌の( )と( )の間に( )いる。

雌：( )をぐっと( )、雄の( )に向けている。

発展：こん虫にはAとBの育ち方があります。トンボの育ち方の○をつけましよう。

A : たまご → よう虫 → さなぎ → 成虫

B : たまご → よう虫 → 成虫

# 命の誕生

森林公園 羽化の季節



羽化したばかりのオニヤンマ  
＝いずれも浜松市浜北区で



ハート形になって交尾をする  
モノサシトンボのつがい

浜松市浜北区の県立森林公園で、命が誕生する貴重な瞬間が見られる季節を迎えている。

森林公園内にあるつぐいす谷親水公園では、日本最大のトンボとして知られるオニヤンマが羽化。木製の遊歩道の

縁にしがみついたヤゴから脱皮すると、ゆっくりと体と羽を伸ばした。モノサシトンボのつがいは、池に張り出す葉に止まって交尾。雄はしっぽの先を雌の頭と胸の間に差し込み、雌はしっぽをぐっと曲げて雄の腹に向けるため、二匹で愛を象徴するハート形をつくっているかのよう。公園の指定管理者は「自然観察や子どもたちの夏休みの自由研究に最適な公園。採取はできないけれど、生き物の営みを実感してほしい」と話している。(宮沢輝明)

## 【活用にあたって】

こうした単元、昆虫の採集時期などは地域やその年の気候の条件などに左右されるので、学習に最適な時期を選ぶのに苦労することもあると思います。このような記事を活用すると、復習を含めて時期を選ばずに指導できるメリットがあると思います。

そして見出しにも是非注目させ、考えさせたいものです。「交尾」ということが「命の誕生」に大きく関わっていること。下の写真をみると雌の身体の曲げ方には子どもたちは驚きをもって見ることでしょう。しかもハート形というところに、この後の学年の学習にも大きく影響するものと思います。写真では「羽化」の感動は伝わらないでしょうが、あの幼虫の大きさからこんなに大きな形が出てくる驚きは伝わるとおもいます。

記事は先生が読んであげて下さい。

### 解答例

問 1 : B

問 2 : むね

問 3 : 雄 → しっぽ・頭・胸・差し込んで

雌 → しっぽ・曲げて・腹

発展 : B